



大田区教育委員会 広報



©大田区

おおたの教育

今号の主な内容

- 1面 大田区は食育に力を入れています!
- 2面・3面 おおたく学校給食大作戦! 東邦大学との連携事業~学校給食献立の共同研究・開発~
- 4面 ものづくり教育・学習フォーラムを開催します! 地球にやさしいまちづくりポスター入選者発表

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 東京都大田区蒲田5丁目37番1号ニッセイアロマスクエア5階 TEL 5744-1111(代表) HP <https://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

大田区は「食育」に力を入れています!

今号では、食育に関する区内小中学校の取組と大田区の学校給食について紹介します。

矢口小学校『お米プロジェクト学習』

矢口小学校の田んぼは、平成22年に、以前のプールの跡地に作られました。また、隣に広い敷地の「矢口自然農園」があり、全学年を通して農業を体験することができるように整備されました。本校は、この環境を各学年で生かして、特色ある教育活動を行っています。

5年生は、社会科における「日本の米作り」の学習と並行して、総合的な学習の時間に1アールの田んぼを活用して米を育てる「お米プロジェクト学習」を実施しています。田

植え前に全力で田起こしや代かきをするこ
とで、水が抜けにくい良い田んぼになることを、実感を伴って体験することができます。田植えから稲刈りまでの間に

害虫や害鳥をどう防くか試行錯誤することは、素晴らしい探究活動になります。また、毎年6月には自然にカモが飛んできて、自然に「アイガモ農法」を見ることができたり、生態系を感じられることは、貴重な体験です。

これらの学習に向かって、各学年の学習を、農業というテーマでつなげています。

低学年では生活科で、一人一鉢のアサガオや野菜を大切に育てる学習をします。また、矢口自然農園でも野菜を育てる学習をします。3年生は国語科の「すがたを変える大豆」という教材を通して、農園で大豆をたくさん育てて、豆腐にする体験学習をします。4年生は理科で「ツル系の植物」を育てて観察する際に、同様に農園やベランダで育てつつ、観察や実験に使っています。

来年から区立小学校で全面实施される教科「おおたの未来づくり」では、5年生の「ものづくり」単元と

して、米を育てながら米の可能性を探る学習を計画しています。そこで、今年度は亀田製菓(株)と(株)ロッテ、大田区産業振興課と授業連携をして、新たな可能性を引き出す製品を開発する学習を実施しています。今後、さらに充実した教育活動を推進していきます。



御園中学校『食育の推進~「食」の探究~』

「食」の探究をテーマとした教科等横断的な学習

御園中学校では、食に関する指導に係る全体計画に基づき、主任栄養教諭と教科担任等が連携し、保護者・地域の協力を得ながら学校全体で食育を実践しています。「食」の探究に関するテーマは①自らの「食生活」を営む、②体を守る・強くする、

③体を作る・動かす、④食を通じて他者と関わり、より良い社会をつくるの4つです。「食」の探究をテーマとした教科等横断的な学びをとおして、生徒たちは食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けていきます。

御園中学校の日常的な食育の取組を紹介

- 給食だより、献立表
まなびポケットにて家庭に配布
- 今日の給食
学校のホームページに給食の写真や献立を毎日掲載
- もくもくニュース
学級に配布。学校のホームページに毎日掲載
- もくもく動画
学級のスライドレール式電子黒板にて放映
食材や行事食、食事のマナーなど、給食や献立に関連する情報を月2日提供
- 各種アンケート実施
Googleフォームにて食育動画やリクエスト給食のアンケートを実施
- 給食試食会
保護者等を対象とした試食会の実施
- 学校給食を活用した食育
生徒によるとうもろこしの皮むきなど
- 夏のわくわくスクール
生徒による給食メニュー作りなど



主任栄養教諭と生徒による探究学習



給食はねびよんPRプロジェクトの活動



中学生による「給食はねびよんPRプロジェクト」

大田区における食育の推進と学校給食の充実のための広報活動の一環として、学校給食公式PRキャラクター制作に取り組んでいます。

御園中学校では、中学生による学校給食公式PRキャラクター制作「給食はねびよんPRプロジェクト」を企画しました。

「食」の探究をテーマとした教科等横断的な学びにおける「食を通じて他者と関わり、より良い社会をつくる」取組として、右の3つがあります。

今後は、大田区の児童・生徒が、食

に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校給食公式PRキャラクター「給食はねびよん」を区内全校に広めていきます。



PRキャラクター作成

- ①給食委員が「給食はねびよんPRプロジェクト」を企画
- ②Googleフォームにてアイデアを全校生徒に募集
- ③生徒からのアイデアをもとにアート部がキャラクターをイラスト化

おおたの学校給食 キャッチフレーズ

おおたの学校給食大作戦!

大田区学校給食の取組として、「おおたの学校給食大作戦」として新たに4つの取組を実施します

1 おおたの学校給食 キャッチフレーズ

- おおたの学校給食 キャッチフレーズ
- お 大田区うまれの「あげパン」
- お 大森の「のり」
- た 「たこぺったん」食べよう
- い 食いしん坊 はねぴょん

「おおたの学校給食キャッチフレーズ」を作成しました!

大田区の学校給食から生まれた「あげパン」、かつて大森で養殖をしていた「海苔」を使った献立、こどもたちのリクエストに応えるために開発された「たこぺったん」といった、大田区の学校給食の特徴を組合せたキャッチフレーズです。大田区の学校給食の特色や取組について広く知っていただくために活用します!

「あげパン」の誕生

昭和27年頃、区内の小学校に勤務していた調理師の篠原さんが余ったパンの活用方法として考えたことが始まりです。

篠原さんが調理技術の向上に努めながら、学校給食コンクールなどで「あげパン」を披露することにより、東京はもとより全国へ広まっていったと考えられています。

大田区立小学校の献立に初めて登場したのは、昭和29年の六郷小学校です。(給食日誌より)

昭和30年代後半になって全国の給食で提供されるようになりました。長い歴史を経てきた篠原さんの「あげパン」は、今でもこどもたちの人気のメニューのひとつです。



▲あげパンを揚げている様子



◎大田区



▲あげパン提供日の給食(一例)



▲たこぺったんを食べている様子



▲たこぺったん(右下)



▲海苔の日の給食(一例)

海苔を使った人気の献立

大田区大森で江戸時代中期から始められた海苔養殖は、昭和38年春、長い歴史に幕を閉じましたが、今でも多くの海苔問屋が残っています。全国に販売する海苔流通の要となっていることから、大田区は「海苔のふるさと」として広く知られています。

大田区の歴史に触れる機会として、2月6日の「海苔の日」に給食で海苔を使った献立を提供する取組を実施しています。

「たこぺったん」の誕生

平成7年頃、区内の小中学校で勤務されていた栄養士の尾形さんが発案しました。こどもたちからの「たこ焼きが食べたい」という要望に応えるため、試作を重ね、大きさや形、具材の切り方も工夫して開発しました。馬込東中学校の献立で登場し、中学校の献立として広まり、小学校では稲谷小学校で平成12年に初登場し、今現在も区内の小中学校に受け継がれ、こどもたちに大好評のメニューになっています。

2 大田区学校給食週間の制定

「大田区学校給食週間」を制定します!

大田区の学校給食について、児童・生徒や教職員、保護者、地域住民等の理解と関心を高め、学校給食の充実と発展を図ることを目的とします。毎年1月24日から2月6日の期間に大田区立小中学校でオリジナルティあふれる献立に取組み、その様子をホームページ等で紹介します。



◎大田区

3 「食いしん坊はねぴょん」作成

学校給食のキャラクターデザインを作成します!



◎大田区



「おおたの学校給食キャッチフレーズ」の「食いしん坊はねぴょん」をイメージしたデザイン案を作成し、児童・生徒の投票により、キャラクターデザインを決定します。

4 「あげパン」コンテスト開催

「あげパン」コンテストを実施します!

大田区発祥の「あげパン」は油で揚げたパンに砂糖をまぶしたものです。学校給食の献立として提供されている「あげパン」は、当初は砂糖だけでしたが、今では味のバリエーションがいくつかあります。今年度、きなこ・砂糖・シナモン・ココア・お茶・ごまの6種類の中で1番人気の味を児童・生徒の投票で決定します。全校で1位の味は大田区ホームページで紹介し、また、各学校で1位になった味の「あげパン」を給食で提供します。



ごま
きなこ
砂糖
ココア
シナモン
お茶

おおたの未来づくり ~「たこぺったん」を広めよう~

志茂田小学校では、「おおたの未来づくり」の学習で、イトーヨーカドー大森店と協力し、大田区の人気給食である「たこぺったん」を有名にする取組を行っています。



1月29日(いちばんのにんぎょうの日)を「たこぺったんの日」として区長と教育長へ提案しました!



「たこぺったん」の取組動画はこちら



東邦大学との連携事業 ~学校給食献立の共同研究・開発~

減塩、偏食改善(食物繊維増)をテーマに給食献立の共同開発を進めています。こどもたちのさらなる健康増進のために、栄養バランスが良い給食を通して適切な食習慣を身に付け、健康課題の低減を目指します。

8月 試作会

今年度5月から東邦大学と献立開発メンバーの栄養教諭・学校栄養士で打合せを行い、献立開発の目的や献立作成時のポイントについて確認しました。

8月には、開発した献立の試作を実施しました。味や見た目、量、献立の組合せ等を確認し、給食に取り入れられるか検討しました。



▲実際の献立の試作

●献立開発のテーマ●

- ①減塩:無塩パンの活用、塩分量を減らしてもこどもたちが食べやすい献立
- ②偏食改善:苦手な食材(食物繊維を多く含む食材)を使用してもこどもたちが食べやすい献立

9月~11月: 開発献立のモデル実施

9月から11月にかけて開発した献立をモデル校で実施しました。こどもたちの食べている様子や食べる量などを確認し、分量や調理法を見直していきます。好評だった献立は、全校で共有し各学校の給食に取り入れていきます。



▲開発した献立(一例)

【減塩】麦ごはん エネルギー: 587kcal
カツオのチリソース たんぱく質: 26.2g
春雨の炒め物 食塩相当量: 1.9g
みそ汁



▲開発した献立(カツオのチリソース)をモデル校で提供しました!

ものづくり教育・学習フォーラムを開催します!

日時 令和7年1月18日(土) 午前9時から午後3時まで
 ※午後2時50分から午後3時50分まで閉会式、
 ものづくり協議会の表彰式を実施予定
 会場 大田区産業プラザPiO 住所: 大田区南蒲田1-20-20
 京浜急行線 京急蒲田駅下車 徒歩3分/
 JR蒲田駅下車 徒歩12分

【注意】
 ※会場には昼食を摂る場所がありませんのでご注意ください。
 ※小学校1・2年生は、必ず保護者と一緒に会場に来てください。
 ※ものづくり体験は、当日受付制です。
 また、一部の体験では実費(材料費の一部500円まで)が必要です。

ものづくり競技会
 ~技能コンテスト~



ものづくり体験
 楽しい体験が盛りたくさん!

舞台発表



作品掲示・展示発表
 大田区小学生科学展



問合先 指導課 指導主事 TEL: 5744-1435 FAX: 5744-1665

地球にやさしいまちづくりポスター入選者発表

小・中学生が環境問題について考え表現したポスターのコンクールを行いました。審査の結果、ポスター作品(応募数:312作品)の入選者が決定したのでお知らせいたします。入選作品は大田区ホームページに掲載しています。

入選作品はコチラ▶
 (区ホームページ)



【最優秀賞】



大森第四中学校 1年 美和 さゆり



池雪小学校 4年 清水 楓



池雪小学校 3年
 工藤 大慈

【優秀賞】	雪谷中学校 2年 菊地 花奈	小池小学校 6年 内桶 杏椰	池雪小学校 3年 鏡 紗南
	六郷中学校 1年 伊川 恵司	高畑小学校 5年 伊豫田 あみか	仲六郷小学校 2年 圓城寺 乃蒼
【特別賞】	六郷小学校 4年 渋谷 凛		
【入選】	雪谷中学校 2年 田淵 結登	菟谷中学校 1年 阿部 莉太	小池小学校 6年 齋藤 香南
	雪谷中学校 2年 東郷 もあな	志茂田中学校 1年 清水 里桜	高畑小学校 5年 塚本 花実
	雪谷中学校 2年 高岡 陽葉里	志茂田中学校 1年 飯田 基暉	六郷小学校 4年 干場 弥生
	雪谷中学校 2年 水田 潤		出雲小学校 4年 廣田 ひなた
			高畑小学校 4年 笹森 心結
			菟谷小学校 3年 金井 瑠唯
			田園調布小学校 3年 服部 卓人
			池雪小学校 2年 港 翔誠
			東調布第三小学校 2年 吉川 莉生
			仲六郷小学校 2年 青木 結人
			高畑小学校 2年 森井 理暉
			久原小学校 1年 眞野 七碧

問合先 環境計画課 計画推進・温暖化対策担当
 〒144-8621 大田区蒲田5-13-14 区役所本庁舎8階
 TEL: 5744-1362 FAX: 5744-1532

受賞おめでとうございます

- 第8回東京都ビーチバレー中学生大会
優勝 大森第二中学校 大森二ロイヤルズ(男子)
- 第71回東京都中学校バドミントン選手権大会
男子団体/女子団体 準優勝 大森第四中学校
- 第59回関東中学校バレーボール大会
第3位 大森第二中学校 バレーボール部(男子)
- 第77回東京都中学校バスケットボール選手権大会
第3位 大森第三中学校 バスケットボール部(男子)
- 第44回全日本バレーボール小学生大会東京都大会 男子
優勝 調布大塚クラブ
- 第6回韓国マーシャルアーツトリッキング協会全国マーシャルアーツトリッキング大会2024
優勝 鈴木 琉太(大森第七中学校3年)
- 第71回東京都中学校バドミントン選手権大会
男子ダブルス 第3位 高橋 新(大森第四中学校3年)/川畑 海希(大森第四中学校2年)
女子シングルス 第3位 佐藤 聖(大森第四中学校3年)
- 第42回JSBA全日本スノーボード選手権大会/Open (Men SLOPESTYLE)
優勝 大塚 颯斗(大森東中学校2年)
- 第64回全国中学校水泳競技大会 女子200m自由形
準優勝 岡島 希果(東調布中学校2年)
- 第45回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会
準優勝 横手 悠生(調布大塚小学校6年)
- 第23回東京都少年剣道学年別個人錬成大会 小学6年生の部
第3位 早野 迅(小池小学校6年)
- 第35回わんぱく相撲東京都大会町田場所 個人戦
第3位 岩村 旭(東六郷小学校5年)
第3位 鈴木 翔太郎(徳持小学校4年)

※受賞当時の学年を記載しています

教育委員の就任について

令和6年12月21日をもって
 弘瀬知江子委員が任期満了により退任し、
 新たに令和6年12月22日付けで
 藤井大吾委員が就任いたしました。



藤井 大吾 委員

話してみよう あなたの悩み

一人で悩まずに、ぜひ、教育相談をご利用ください。
 あなたの「いやだ」「困ったな」「助けて」の声に耳を傾けます。
 いじめ、友人関係、不登校や学習・進路に悩む子どもたちと保護者の
 皆さんの心に寄り添ってお話を伺います。



★教育センター 教育相談担当
 平日:午前9時~午後7時 土日:午前9時~午後5時(年末年始・祝日を除く)
 ●保護者の方 電話番号 03-5748-1201
 ●子ども専用 電話番号 03-5748-1203

★こころの輪メール kokoronowa@city.ota.tokyo.jp
 返信は1回限りになります。相談を継続されたい方は教育センターの電話相談等をご利用ください。
 右の二次元バーコードから「こころの輪メール」につながります。



問合先 教育センター TEL: 5748-0801 FAX: 5748-1390

教育委員会定例会の主な議題

- 令和6年第9回定例会(9月25日開催)
- 令和6年第10回定例会(10月28日開催)
 ・大田区子ども読書活動推進計画(第四次)の策定について
- 令和6年第11回定例会(11月25日開催)
 ・大田区立学校設置規則の一部を改正する規則

教育委員会定例会の開催予定日

- 日程 1月23日(木) 2月13日(木) 3月24日(月)
 - 時間 午後2時から
 - 場所 蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア5階 教育委員会室
- ※予定が変更になる場合があります。
 傍聴を希望する方は、あらかじめ下記問合先へご確認ください。
 ※手話通訳・要約筆記が必要な方は開催日1週間前までに、
 その他特別な配慮が必要な方は事前にご連絡ください。

問合先 教育総務課 庶務係 TEL: 5744-1422 FAX: 5744-1535